



図書館サポーターズだより

明日に吹く風



肌寒い日が続いて、温かい飲み物や食べ物などが恋しくなってきましたね。そんな日は室内で読書をするのはいかがでしょうか？それでは今月も、図書館サポーターズがおススメする本を紹介します！

～図書館サポーター推薦図書～

『バナナの魅力を100文字で伝えてください』

柿内 尚文 著 (361.454 || Ka26)

この本のタイトルを見て、みなさんは100文字で伝えることができましたか？できたとしても100文字で伝えることは難しいと感じたのではないのでしょうか。また、物事を相手に伝えるとき、上手く伝わらず悩んだことはありませんか？しかし、この本を読めばもう大丈夫！

「相手の気持ちを考えながら上手に伝える方法」や「伝えるときの重要ポイント」を学ぶことができます。また、自分自身がつまずいたり落ち込んだりしたことがあっても、「モチベーションをあげる方法」や「価値を再発見する」ことができる言葉の“言い換え”も知ることができます。「相手にうまく伝えることができない人」「言葉が道具となる仕事に就きたいと考えている人」など様々な悩みが解決できちゃいます！ぜひ、手に取ってみてください！



(M. H)

『落日』

湊 かなえ 著 (913.6 || Mi39)

多くの謎が暴かれていく展開が好きな方、必見です！

この作品は、主人公甲斐千尋が映画監督長谷部香に15年前の事件を用いた作品を手掛けたという相談から始まります。登場人物たちが抱える問題がリアルに描かれている部分や、ファンタジーのような部分もあります。家庭環境が複雑な描写もあり、考えさせられます。登場人物全員に乗り越えたい過去があり、事件の全容を暴きながらそれぞれが過去を乗り越えて前を見据えていく展開を楽しんでもらいたいです。作品を読み進める中で、なぜタイトルは「落日」なのかを考えると、より一層楽しめると思います。

湊かなえさんが好きな方、初めて湊かなえさんの作品を読む方にもおすすめです。

(K. Y)



『誰も知らない』

世界のことわざ』

エラ・フランシス・サンダース著

(388.8 || Sa62)

みなさんは「ロバにスポンジケーキ」ということわざを知っていますか？この本は、世界のことわざが絵本のように紹介されています。一見、意味がわからないようなことわざでも、解説を読めば思わず「なるほど！」と納得してしまう言葉がたくさん載っています。例えば、冒頭で紹介した「ロバにスポンジケーキ」は、ポルトガルのことわざで、「そのものの価値や扱い方の分からない人に何かを与えることの無意味さ」を表しています。これは、“スポンジケーキの味や香りが分からないロバにケーキを与えても価値がない”という意味です。このように、世界のことわざを可愛いイラストと共に知ることができる素敵な一冊です。

ぜひ、友達や家族とクイズを出し合いながら読んでみてください！

(C. M)

